

# 工学院大学 八王子キャンパス マスタープラン

所在地: 東京都八王子市  
 発注者: 工学院大学  
 期間: 2010年  
 対象区域: 工学院大学 八王子キャンパス  
 業務概要: 現況調査および課題整理  
 整備方針および整備計画の検討  
 デザインガイドラインの検討  
 アクションプランの検討  
 実現方策の検討

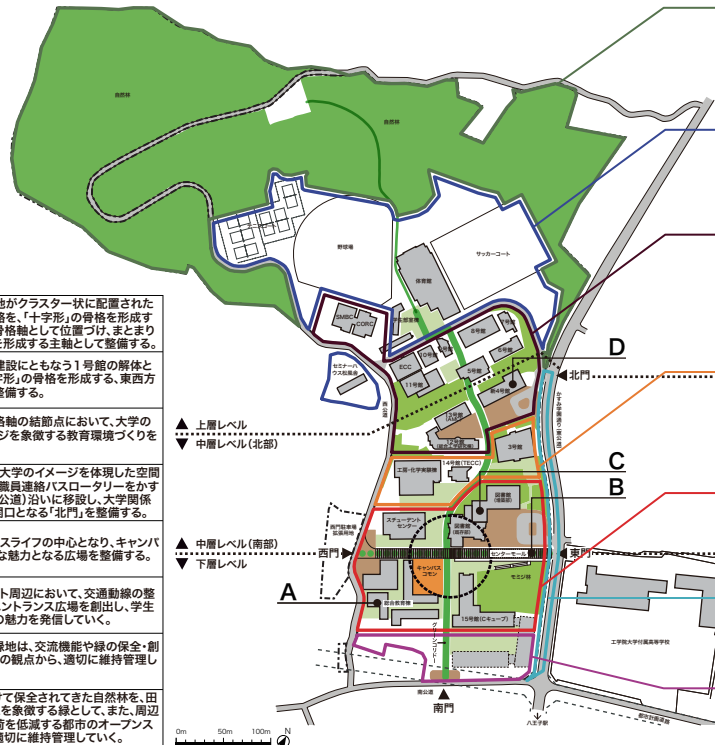
工学院大学が2012年に開講125周年を迎えるに当たり、建替えや改修の必要な施設が目立つようになってきた八王子キャンパスにおいて、工学院大学のイメージを牽引するようなキャンパス空間の整備を総合的に推進するために、「キャンパス・マスタープラン」を策定した。

策定に際しては、少子化に伴う大学間競争の激化をはじめ、大学を取り巻く社会情勢の変化を踏まえ、時代の変化に柔軟に対応しながら、次代を生き抜くことのできるキャンパス整備の基本方針と基本構造の枠組みを打ち出し、長期に渡り質の高い建築やオープンスペース整備を誘導することができる全学的な指針となることを目指した。

策定後は、マスタープランを抛り所に、段階的なキャンパス整備が推進されている。

## ■土地利用と骨格形成

●	グリーンコリド	建物、広場、緑地がクラスター状に配置された既存の南北道路を、「十字形」の骨格を形成する南北方向の骨格軸として位置づけ、まどまりのある緑景観を形成する主軸として整備する。
●●●	センターモール	総合教育棟の建設にともなう1号館の解体とあわせて、「十字形」の骨格を形成する、東西方向の骨格軸を整備する。
○	キャンパス・コア	「十字形」の骨格軸の結節点において、大学のブランドイメージを象徴する教育環境づくりを推進する。
◀	キャンパスゲート	東、西、南門を、大学のイメージを体現した空間へ改修する。教職員連絡バスロータリーをかすみ学園通り(東公道)沿いに移設し、大学関係者のための玄関口となる「北門」を整備する。
■	キャンパスコモン	豊かなキャンパスライフの中心となり、キャンパス・コアの新たな魅力となる広場を整備する。
■	エントランス広場	キャンパスゲート周辺において、交通動線の整理とあわせてエントランス広場を創出し、学生や来賓へ大学の魅力を発信していく。
■	広場	既存の広場や緑地は、交流機能や緑の保全・創出、景観形成等の観点から、適切に維持管理していく。
■	緑地	長い年月をかけて保全されてきた自然林を、田園型キャンパスを象徴する緑として、また、周辺地域の環境負荷を低減する都市のオープンスペースとして、適切に維持管理していく。
■	自然林(演習林)	



### 自然林(演習林)

- 隣接して広大な森を所有する周辺の神社とも連携し、広面積に高密度で植栽された緑を保全していく。
- 適切な維持管理により、環境資産としての価値を維持していく。
- 教育研究活動の場として、林床の維持管理も含めた「演習林(研修の場)」としての可能性を検討していく。

### スポーツ・レクリエーションゾーン

- 新宿キャンパスにはない体育館や屋外スポーツ施設を備えたゾーンとして、適切に維持管理していく。
- 体育の授業、部活動、サークル活動等の拠点として、また、スポーツ・文化活動等を通じた交流の場として活用していく。

### 専門実験研究ゾーン

- 八王子キャンパスの特色となる大型の実験設備を備えた実験研究拠点として、積極的な産学連携による共同研究を推進する。
- 時代ニーズに対応した専門性の高い活動を継続していくために、研究の場・機能の継続的な更新を図る。
- 施設整備とあわせて広場の創出等で、閉鎖的になりがちな実験の場に潤いを付加していく。

### 創作ゾーン

- 学生工房等、比較的専門性の高い建物を備えたものづくりの拠点として、非効率に配置されている創作機能を集約し、機能強化を図っていく。
- 既存の工房等は活動が見えにくいため、交流の場やプレゼンテーションの場の創出により、活動および成果の可視化に努め、学生の創作活動を促進していく。

### センターゾーン

- 学科や学年を問わず多くの学生や教職員が利用する、キャンパスライフの中心となるゾーンとして、豊かな教育環境づくりを推進していく。
- 開校125周年記念事業である総合教育棟や、東西方向の骨格軸となるキャンパスモールの整備等により、大学のブランドイメージを発信していく。

### キャンパスエッジゾーン

- キャンパスへのアクセス動線であるかすみ学園通り(東公道)に面し、外部に対しての「キャンパスの顔」となることから、キャンパスへのアプローチ空間としてイメージアップを図る。

### 将来拡張ゾーン

- 自転車駐輪場やテニスコートが配置されている南門周辺は、都市計画道路の計画があるため、恒久的な改善整備は困難な状況にある。当面は、大学を取り巻く環境の変化や、教育・研究ニーズに対応していくための増築や建替えの余地として担保しておく。

## ■マスタープランの構成

### 前提・現況

1. キャンパス・マスタープランの目標と役割

2. 八王子キャンパスの現況と課題  
 土地利用 骨格形成 交通 建物 オープンスペース

### 方針・計画

3. キャンパス整備の目標

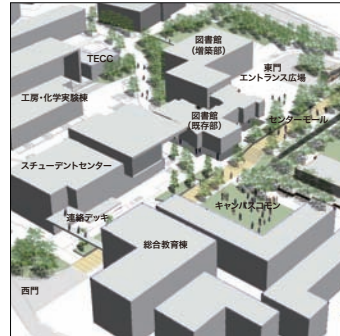
4. キャンパス整備計画  
 土地利用 骨格形成 交通 建物 オープンスペース

### 運用

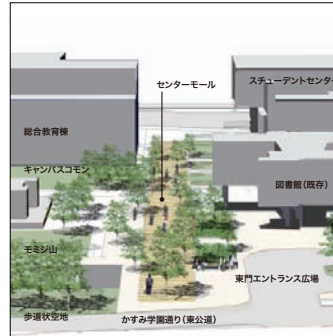
5. アクションプラン 6. 実現に向けて

## ■アクションプラン

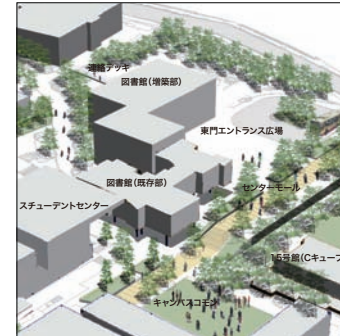
### A. 総合教育棟整備計画



### B. センターモール整備計画



### C. 八王子図書館周辺整備



### D. 新4号館整備計画

